



# 理想の最期「平穏死」とは

—在宅医からの警告と助言—

自分の最期は自分で決める！今はそんな時代になりつつあります。

「苦痛を伴わずコロリと平穏に逝きたい」のが万人共通の願いですが、今の日本の病院では平穏死はほど遠いのが現状です。現在の終末期医療の実情と誰もが願う平穏死を実現するための具体策や、500人を在宅で看取ったお話などを超ご多忙の在宅医の先生にお話をさせていただきます。 多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

## 記

- ◆ 日時：2013年2月23日(土) 午後1時30分～3時30分 (変更になります)
- ◆ 会場：ビッグ・アイ 1階 研修室
- ◆ 講師：長尾和宏氏 (長尾クリニック院長、日本尊厳死協会副理事長)
- ◆ 受講料：1,300円 (ただし、ライフセミナーⅡ期受講生は納入済み)

## 講師プロフィール

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 氏

1958年香川県生まれ。1984年東京医科大学卒業、大阪大学第二内科に入局。

1995年兵庫県尼崎市で開業。365日年中無休の外来診療と24時間体制での在宅医療に従事。医療法人裕和会理事長、

長尾クリニック院長。医学博士、日本尊厳死協会副理事長・関西支部長、日本在宅医学会専門医、日本ホスピス在宅ケア研究会理事等多方面で活躍。

主な著書：「町医者シリーズ」①～⑤、「パンドラの箱を開けよう」(共著)、「蘭学医・関寛斎—平成に学ぶ医の魂」(共著)

「町医者だから言いたい」シリーズ①～③、「平穏死」10の条件。など多数。



ご注意ください！

講師が超ご多忙のため  
日時が変更になります。

2013年2月23日(土)  
午後1時30分～  
3時30分です。

\*直接会場にお越しください。

\*問合せ：水野 (292-8875)

向阪 (297-5290)